

特集

きよりのとした目、羽毛につつまれた頭。ウロコにおおわれた三本の足はまさに恐竜。

これが世界で二番目に大きな鳥「エミュー」の姿です。最近、エミューの姿勢や走り方、群れの動き、ひな鳥から大人までの成長を研究しようと、学生と一緒に頑張っています。

何で恐竜の研究者がエミューを調べるの？それは、昔の恐竜の生活や体を考える手がかりになるからです。何しろ、鳥は恐竜ですから。

エミューは、横方向に広がって走って逃げます。休んでいるときは足をベターッと地面につけています。体の抵抗力はとても強くて、多少の傷を負っても平気です。それからなんと、卵はオスが温めます。

エミューのこんな性質は、絶滅した中生代の恐竜から受け継いだ？ それとも？あれこれ考えてしまいます。

何よりも実際にエミューの群れの中に入って一緒に走ると、「これはもうほとんど小型肉食恐竜の群れだ」と体で感じます。雨で地面がぬれ、足跡がつくと、それはあのモンゴルの地層についていた恐竜の足跡そっくり。ほんとうに鳥類学は現代の恐竜学なのです！

今度、動物園へ行ったら「あれは恐竜だ」と思いながらエミューやダチョウを見てくださいね。

まるで「恐竜の群れ」



写真①エミューの頭部。本当に大きな目です
 写真②エミューの足。恐竜もきつとこんなだったことですよ
 写真③エミューの群れ。この中に入ると本当に恐竜の群れにいる気分です

協力：日本エコシステム株式会社エミュー飼育研究所（佐賀県基山町）

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



世界で2番目に大きな鳥 エミュー

まめ 豆 知 識

エミューはオーストラリア原産の鳥で、大きなものは体高2m、体重60kgになります。でも翼はとてとても小さくて飛べません。日本にはエミューを何百頭も飼っている牧場があり、肉や卵、そしてエミューオイルが利用されています。